

(裏)

建 築 物 の 概 要	用 途	商業施設			
	最 高 の 高 さ	12.79m	階 数	地上 2階	地下 0階
	構 造	鉄骨造地上2階建			
	敷 地 面 積	15,256.04m ²			
	建 築 面 積	6,394.53m ²	届出以外 の部分	- m ²	合計 6,394.53m ²
	延 べ 面 積	11,987.21m ²	届出以外 の部分	- m ²	合計 11,987.21m ²
	屋上に設置する建築 設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m <input type="checkbox"/> その他			
	色彩の変更部分 とその面積	面積 m ²			
仕 上 材	屋 根	駐車場：アスファルト舗装 塔屋：ガルバリウム鋼板	色 彩	屋 根	駐車場：8.3YR 3/3.7 (アスファルト舗装近似色) 塔屋：N7(鋼板素地)
	外 壁	A L Cパネル塗装		外 壁	N8.5(薄グレー)、 N7.5(グレー)、 N6(濃グレー)
開 発 行 為 の 概 要	開 発 区 域 の 面 積	43,684.87m ²			
	行 為 の 目 的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²) その他 ()			
	行 為 の 内 容	切土 (1,730m ³) 盛土 (14,539m ³) その他 ()			

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	湘南モノレール「湘南深沢駅」から徒歩8分。梶原地区の再開発地域に近接した新しい街並み形成の一端を担う地域
まち並みの連続性	敷地東側には戸建て、南・西側は店舗や倉庫等低層建物が多く建っている
周辺建物のデザイン	周辺には工場や商業施設が建ち並び白を基調とした明るい建物が多い
眺 望 景 観	西側の道路および南側の横須賀水道通路、北側の新川など開放的な立地
景 観 資 源	特になし

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

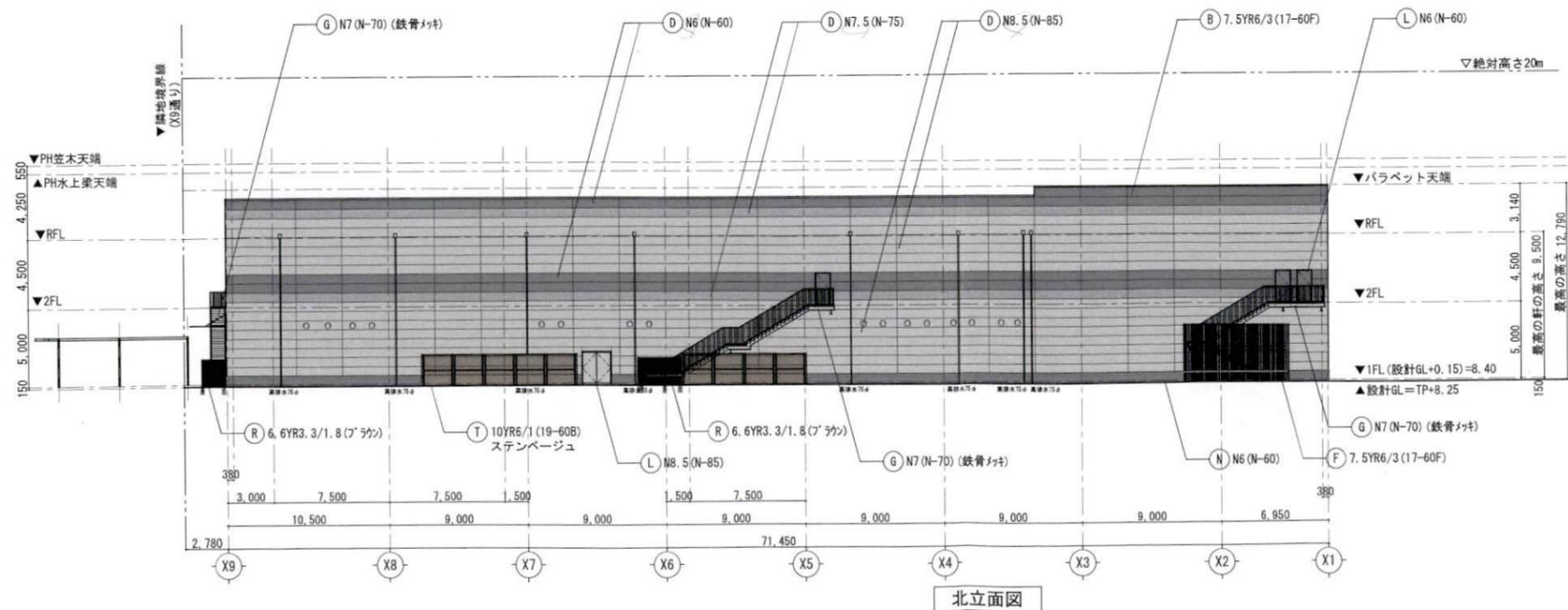
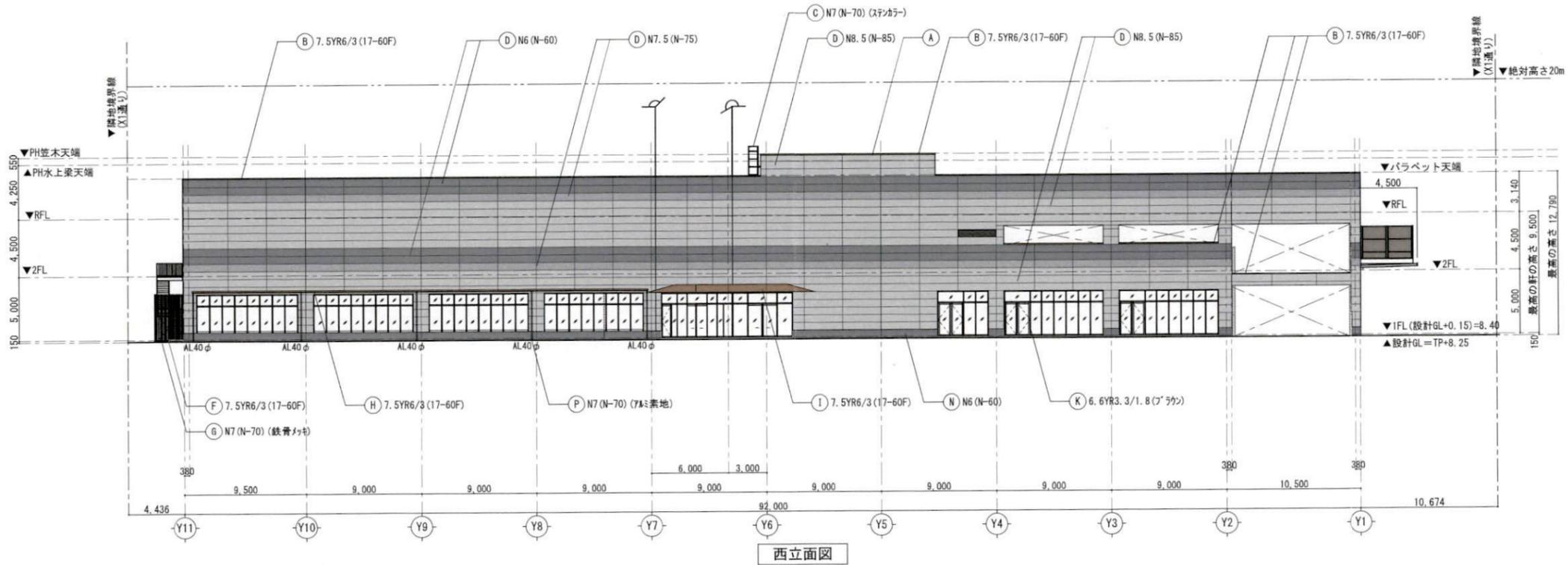
項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	西側県道に対し奥まった配置計画とすることで接道部、周辺への圧迫感へ配慮した計画とした
形 態 意 匠	○	建物高さを必要最低限に抑え、各面のパラペット高さを統一することで周辺、各面からの景観調和に配慮した
色 彩	○	外壁色は無彩色を基調としグレー系の濃淡にて塗分けし、変化を設ける落ち着いたある計画とした
建 築 設 備	◎	西側県道、南側横須賀水道からの景観に配慮し設備が見えない様にパラペットの高さ設定、目隠しパネルを計画した
外 構 緑 化	○	県道側は可能な限り接道緑化に努め、周辺への環境に配慮し、緑化駐車場を計画することで敷地内の平面的な緑化の確保にも配慮した

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

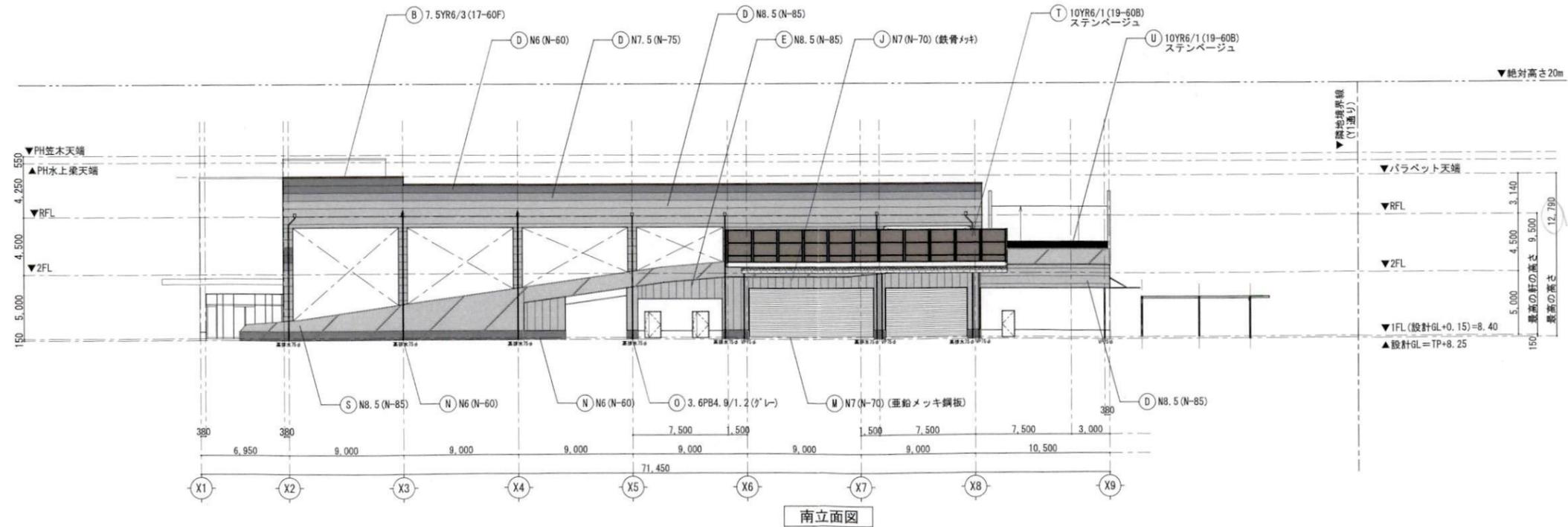
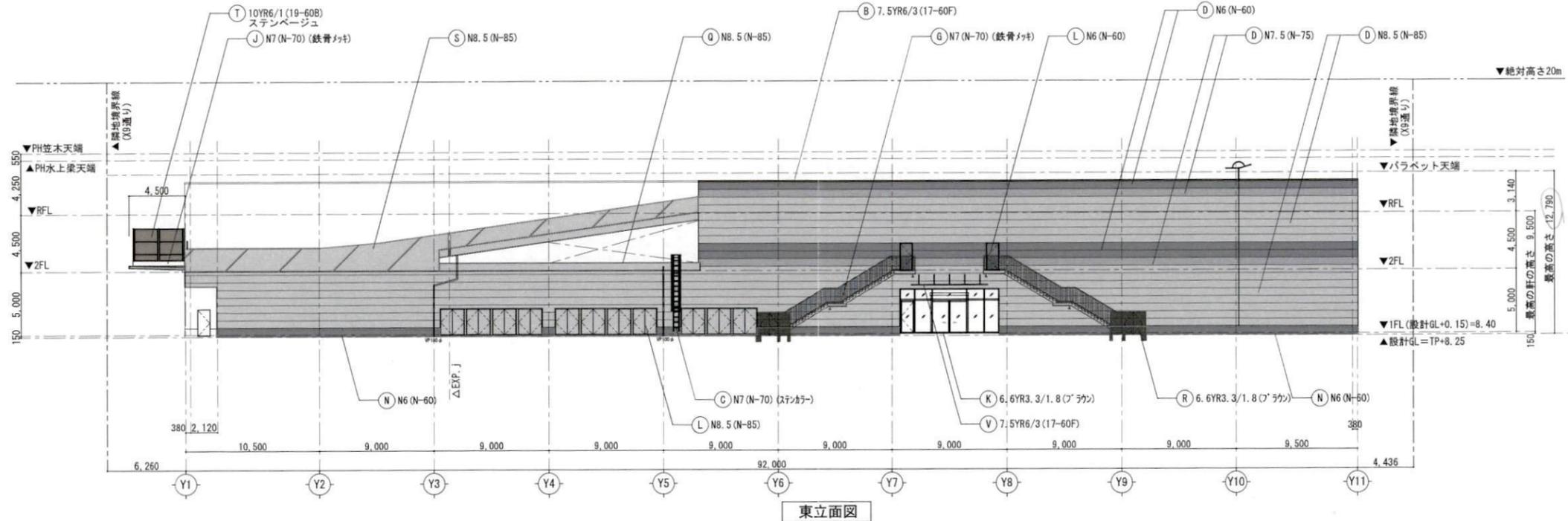
項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成	○	過度な盛土を行わず周囲の街並みとの連続性に配慮する造成計画とした
擁 壁	◎	県道側は既存の擁壁は解体し、高低差を敷地内レベルで解消し2m幅の自主管理道路にて周辺へ配慮する計画とした
敷き際・緑化	○	単調な景色とならない様、中高木をリズムカルに配置することで空間と緑量をバランス良く配置した計画とした

A	PH屋根	軽鋼骨鋼板折板二重葺き(上弦材t=0.8、断熱材入りグラスウールt=100 24kg/m ³ 、下弦材t=0.6)H=160、働き巾500、丸融折板II型 9'2"幅仕様 上下弦材:溶融亜鉛メッキ	I	庇(西エントランス)	ガルバリウム鋼板曲げ加工+折板屋根	P	壁②	小庇用 アルミ40φ			
B	笠木	軽鋼骨鋼板 t=0.8 曲げ加工	J	庇(荷捌)	庇:軽鋼骨鋼板 吊工法 シックル折板 t=0.8 H=150 働き巾500 ガルバリウム鋼板 吊鉄骨:溶融亜鉛メッキ	Q	下屋根	デッキスラブ上、ウレタン塗膜防水			
C	タラップ	アルミタラップ 背かご付き(鍵付き)	K	外部建具①	アルミサッシ 電解二次着色 FIX、両開き戸 自動ドアエンジン:無目枠付	R	進入防止フェンス	メッシュフェンス H1800			
D	外壁①	ALC t100 アクリル系弾性塗装 横貼り	L	外部建具②	鋼製扉(ヒンジ付)2液型シリコン樹脂塗装	S	車路パネル	コンクリート打放補修の上、アクリル系弾性塗装 H1200			
E	外壁②	ALC t100 アクリル系弾性塗装 縦貼り	M	外部建具③	スチール製電動重量シャッター スラット:亜鉛メッキ鋼板 枠:2液型シリコン樹脂塗装	T	防音パネル	セキスイ 防音めかくし壁PS-4型 H2500			
F	目隠しパネル	アルミ製 縦ルーバー 60×120(指定色)	N	腰壁	コンクリート打放補修の上、アクリル系弾性塗装	U	光害対策パネル	セキスイ めかくし壁V型 通風タイプ H600			
G	屋外階段	鉄骨造(溶融亜鉛メッキ) 床:フェニックスプレート t=4.5(溶融亜鉛メッキ) 手摺:丸棒溶融亜鉛メッキ H=1,100	O	壁①	カーVP125φ露出(一部100,75φ) 高排水型 受け金物:ステンレス製φ1,200以下、伸縮継手:φ8,000	V	庇(東エントランス)	アルフィン 7ö製庇 AD-R(9öトö仕様 前勾配) D=2400 積雪80cm			
H	庇(駐輪場上)	アルフィン 7ö製庇 AD-R(9öトö無し 前勾配) D=1500 積雪80cm									



- 景観条例(産業地)
 基調色:色相R、YR、Yの場合は彩度6以下
 その他の色相は彩度3以下
 明度は6以上
- N8.5 (N-85) / ■ 7.5YR6/3 (17-60F)
 - N7.5 (N-75) / ■ 10YR6/1 (19-60B)
 - N6 (N-60)

A	PH屋根	1号ガルバリウム鋼板折版二重葺き(上弦材t=0.8、断熱材入りグラスウールt=100 24kg/m ³ 、下弦材t=0.6)H=160、働き巾500、丸巻折版II型 9号ガルバリウム鋼板 上下弦材:溶融亜鉛メッキ	I	庇(西トランス)	ガルバリウム鋼板曲げ加工+折版屋根	P	竖樋②	小応用 アルミ40φ			
B	笠木	1号ガルバリウム鋼板 t=0.8 曲げ加工	J	庇(荷掛)	庇: 1号ガルバリウム鋼板折版 t=0.8 H=150 働き巾500 ガルバリウム鋼板 吊鉄骨: 溶融亜鉛メッキ	Q	下屋根	デッキスラブ上、ウレタン塗膜防水			
C	タラップ	アルミタラップ 背かご付き(継付き)	K	外部建具①	アルミサッシ 電線二次着色 FIX、両開き戸 自動ドアエンジン: 無目枠付	R	進入防止フェンス	メッシュフェンス H1800			
D	外壁①	ALC t 100 アクリル系弾性塗装 横貼り	L	外部建具②	鋼製扉(セイフタイ)2液型シリコン樹脂塗装	S	車路バレット	コンクリート打放補修の上、アクリル系弾性塗装 H1200			
E	外壁②	ALC t 100 アクリル系弾性塗装 縦貼り	M	外部建具③	スチール製電動重量シャッター スタッド: 亜鉛メッキ鋼板 枠: 2液型シリコン樹脂塗装	T	防音パネル	セキスイ 防音めかくし型PS-4型 H2500			
F	目隠しパネル	アルミ製 縦ルーバー 60×120(指定色)	N	腰壁	コンクリート打放補修の上、アクリル系弾性塗装	U	光害対策パネル	セキスイ めかくし型V型 通風タイプ H600			
G	屋外階段	鉄骨造(溶融亜鉛メッキ) 床: フェッパプレート t=4.5(溶融亜鉛メッキ) 手摺: 丸棒溶融亜鉛メッキ H=1,100	O	竖樋①	1号VP75φ露出(一部100,75φ)高排水型 受け金物: スチール製φ1,200以下、伸縮継手: φ8,000	V	庇(東トランス)	アルフィン 7号製庇 AD-R(9号)仕様 前勾配 D=2400 積雪80cm			
H	庇(駐輪場上)	アルフィン 7号製庇 AD-R(9号)仕様 前勾配 D=1500 積雪80cm									

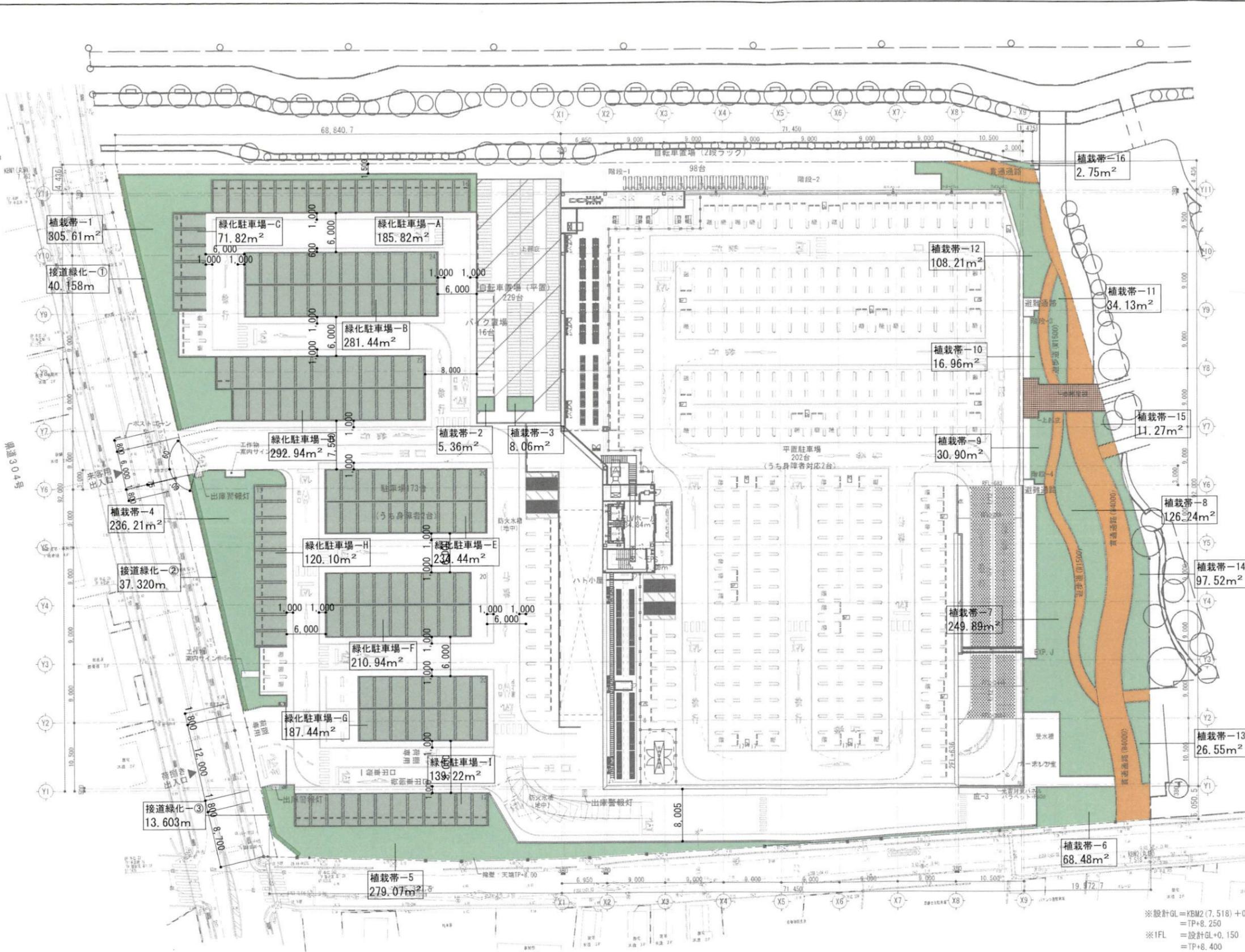
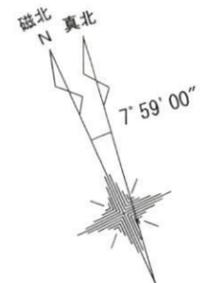


■景観条例(産業地)
 基調色: 色相R、YR、Yの場合は彩度6以下
 その他の色相は彩度3以下
 明度は6以上

N8.5(N-85)
 7.5YR6/3(17-60F)

N7.5(N-75)
 10YR6/1(19-60B)

N6(N-60)



- 植栽の本数
風地被域外：緑化面積当たり
高木1本、中木2本、5㎡を覆う本数の低木/10㎡
高木：植栽時の樹高3m以上
中木：植栽時の樹高1.5m以上3m未満
低木：植栽時の樹高1.5m未満
- 接道緑化
風地被域外：原則として接道部に生垣を設置、戸建住宅以外は生垣ではなく低木でも可
垣根：樹高概ね1.5m、2本以上/m
- 敷地面積：15,225.04㎡
- 必要緑化面積：15,225.04 × 2/10 = 3,045.01㎡ (少数第三位切上)

● 緑化面積積算表

植栽帯	面積 (㎡)	緑化駐車場	緑化率	面積 (㎡)	
1	305.61	A	185.82	0.9	167.23
2	5.36	B	281.44	0.9	253.29
3	8.06	C	71.82	0.9	64.63
4	236.21	D	292.94	0.9	263.64
5	279.07	E	234.44	0.9	210.99
6	68.48	F	210.94	0.9	189.84
7	249.89	G	187.44	0.9	168.69
8	126.24	H	120.10	0.9	108.09
9	30.90	I	139.22	0.9	125.29
10	16.96				
11	34.13				
12	108.21				
13	26.55				
14	97.52				
15	11.27				
16	2.75				
小計	1,607.21	小計			1,551.69
合計			3,045.01	<	3,158.90㎡ (少数第三位切捨)

● 必要接道緑化：
(2.481 + 4.995 + 21.998 + 20.011 + 20.008 + 19.984 + 19.989) × 6/10 = 65.680m (少数第四位切上)

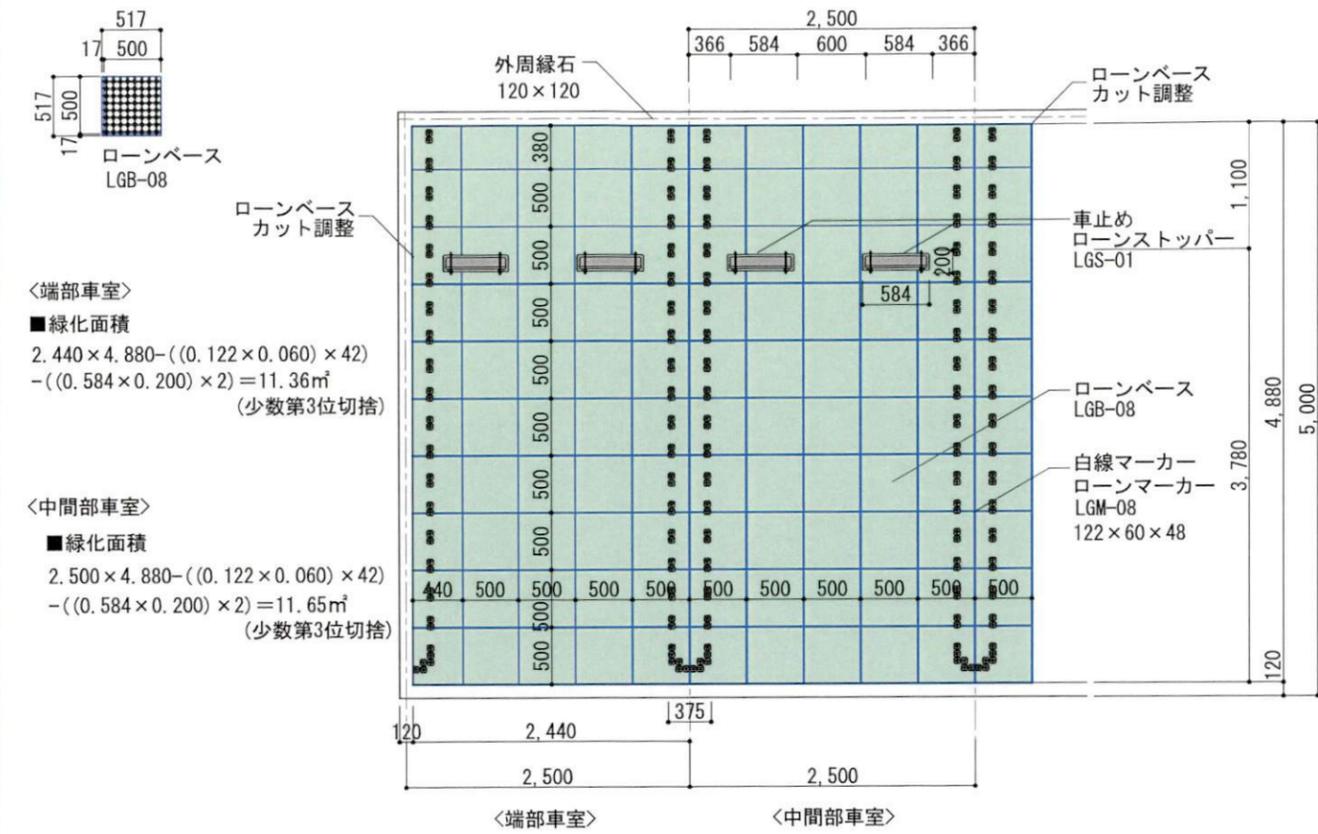
● 接道緑化集計表

接道緑化	緑化長
①	40.158m
②	37.320m
③	13.603m
合計	91.081m > 65.680

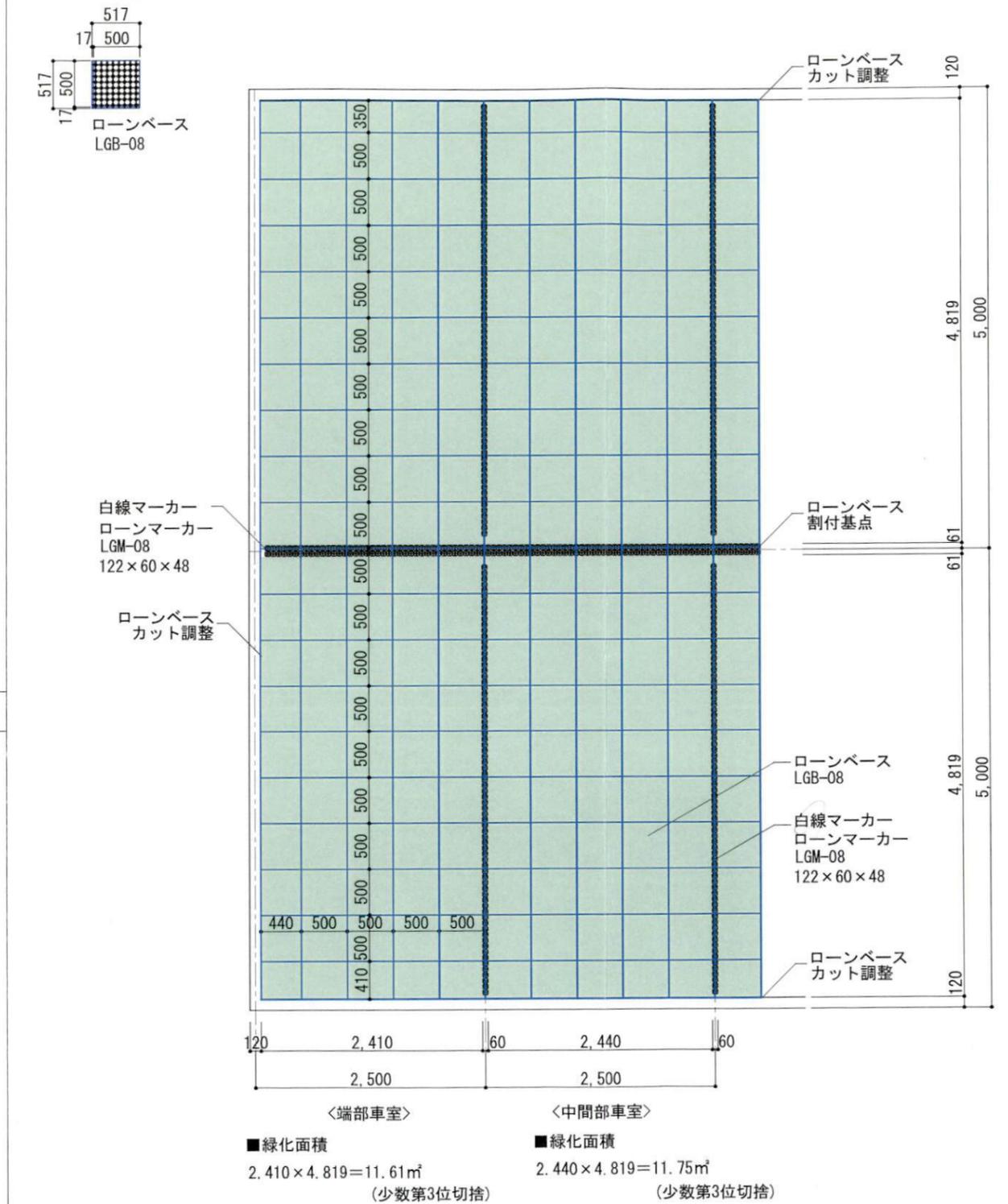
- 接道緑化
- 植栽帯
- 緑化駐車場
- インターロッキング
- 磁器タイル

※設計GL = KEM2 (7.518) + 0.732 = TP + 8.250
 ※1FL = 設計GL + 0.150 = TP + 8.400

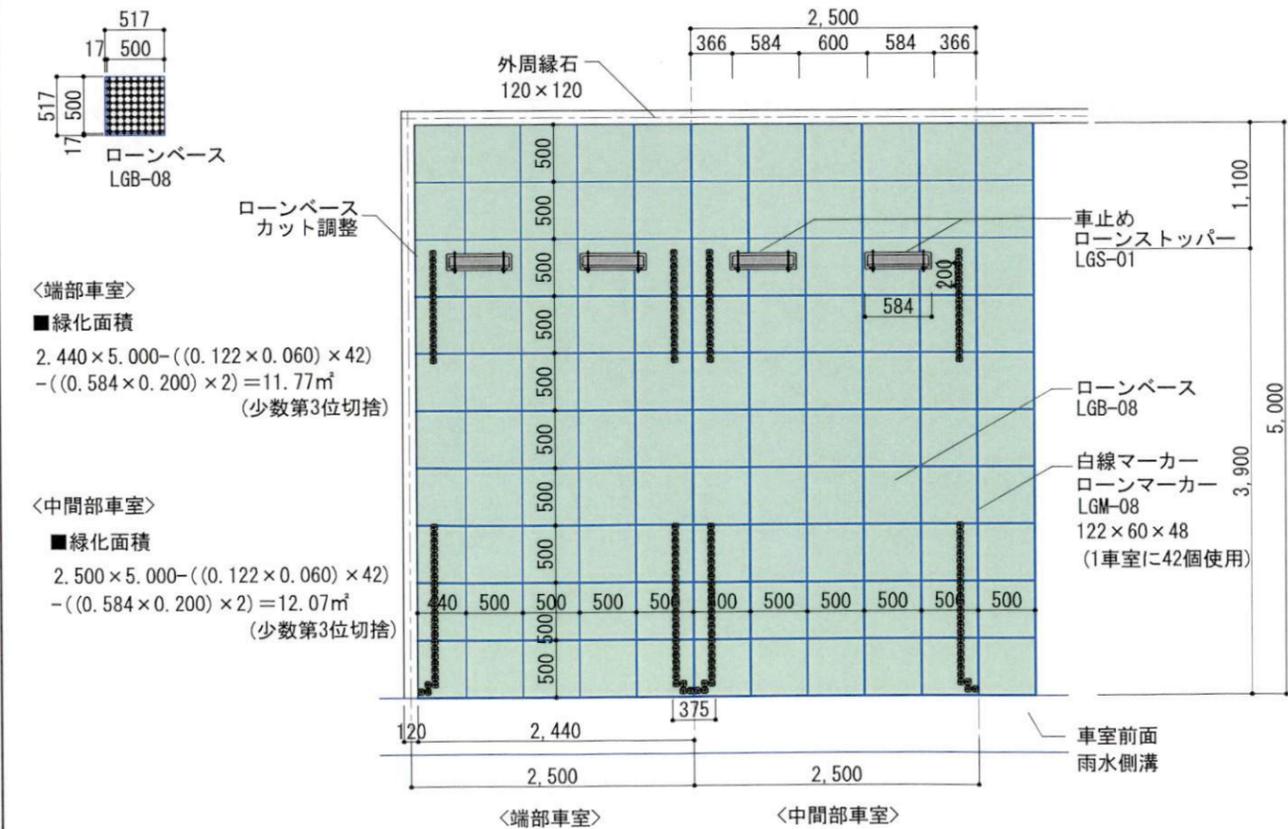
緑化駐車場：駐車マス(外周部：A、D、I) 1：60



緑化駐車場：駐車マス(中央部：B、D、E、F、G) 1：60



緑化駐車場：駐車マス(外周部：C、H) 1：60







(仮)鎌倉市梶原計画 現調写真 No.1



(仮)鎌倉市梶原計画 現調写真 No.2

